



3月号 令和6年2月22日 発行

# 四中だより

朝霞市立朝霞第四中学校  
埼玉県朝霞市栄町 5-1-60  
TEL(048)466-4711  
Fax(048)467-4744

目指す学校像

生き生きと学び、夢と希望を胸に、感動を実感できる学校

## 心の羅針盤

校長 稲泉 功

1年たつのは本当に早いものです。今日から一週間たつと、もう卒業式、修了式を迎える3月となります。保護者の皆様、地域の皆様にはこの1年間、本校の教育を側面から支えていただき本当にありがとうございました。

四中生のみなさん、令和5年度、自身の成長が実感できたでしょうか。四中だより2月号でも触れましたが、中学校では今まで以上にTPOが大切であり、時と場と相手に対して、自分で考え、判断して行動することが求められます。もちろん、わからないときは、先生方、上級生、あるいは同級生に積極的に尋ねても構いませんし、その姿勢が周囲との関係を深めていくことにもなります。その繰り返して、その積み重ねにより、中学校生活を自分の力で作り出していくことにもなると考えます。実際のところ、それは中学校を卒業しても続いていくのです。

さて、21世紀も24歳、来年でいわゆる四半世紀となります。これからの社会はどうなっていくのでしょうか。私自身もそれをはっきりと捉えることはできません。言えることは、これまで以上に多様な価値観のもとで、情報化や国際化が更に進んでいくことでしょう。また、国際紛争や環境問題、あるいは経済問題など、過去20年間で世界が抱えてきた問題が、今後も課題として引き継がれていきます。このような時代に、四中生のみなさんに次のことを願います。

～「正しい心の羅針盤を持つ」～

みなさんは、羅針盤がどこで使われ、どのような働きをしているか知っていると思います。それは、航海等で船の進路の方向を正しく教えてくれる道具です。私たち人間は、誰でも心の中に、「考える・判断する」という心の羅針盤を持っています。しかしながら、心の羅針盤が正しく動かなければ、よりよい行動はとれません。残念なことに、心の羅針盤が正しく動かないために、いろいろなトラブルが起きています。正しい心の羅針盤を持つためには、平素の学校生活や家庭生活、あるいは、ご近所さんなど、地域社会の生活の場面で、「自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、よりよく問題を解決する能力」を身に付けていくことが大切になります。繰り返しますが、「自ら」、これがキーワードです。他から「やりなさい」と言われるのではなく、「自ら」。あくまでも自分の力で。

3月が過ぎれば、卒業・進級となります。その時は、新しい学習や生活を通して、「自ら考え、判断し、よりよい行動ができる正しい心の羅針盤」を自分自身の力で育てていってください。

保護者の皆様には、お子様の卒業・進級というまたとない機会を見逃されることなく、この1年間のお子様の成長を認め、励ますことにより、お子様の新しい学校・学年、新たなステージに向けての「意欲」へと繋げていただければと願っております。



地域とともに～学校運営協議会始動～  
令和6年度から本校は、学校運営協議会を設置します。学校と地域が同じ目標を共有し、ともに運営することで、家庭地域との連携を更に深めた、「地域の拠点四中」を創造してまいります。  
(2/13生徒会、スクールガードのあいさつ運動)